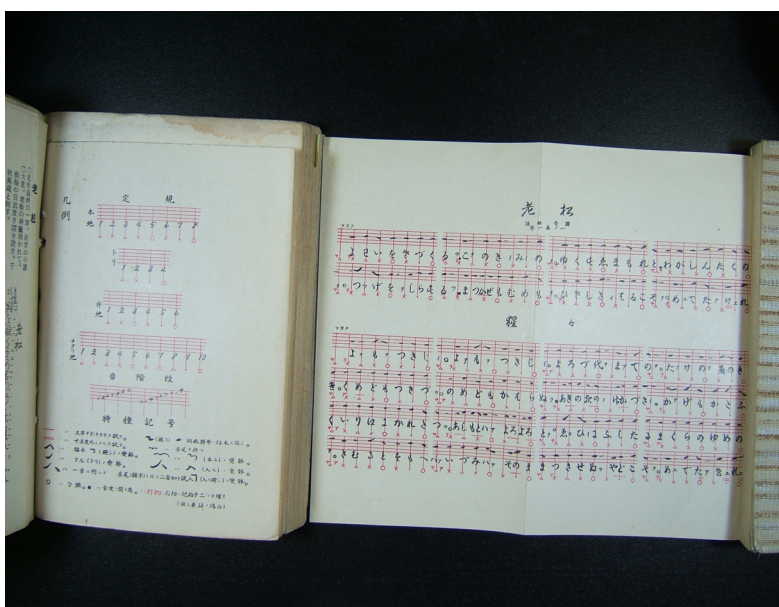
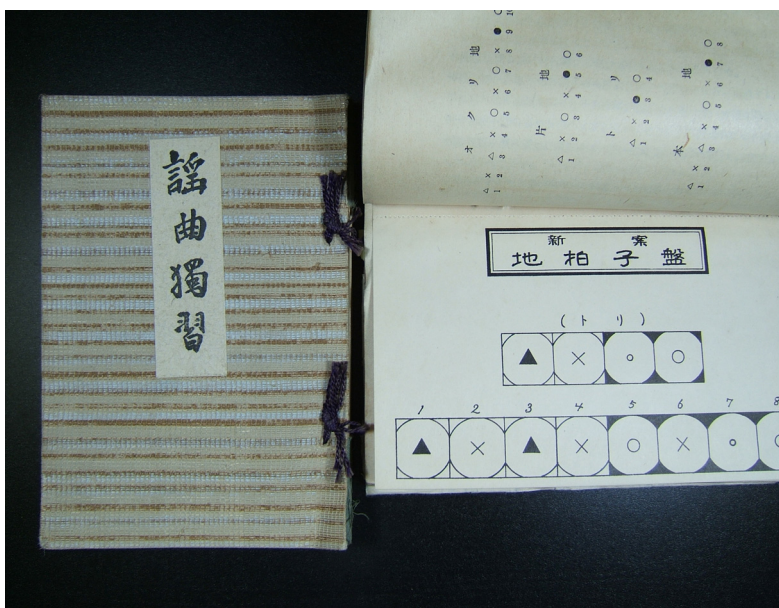


杉江櫻國 『謡曲独習』

謡曲指導書。謡曲組織（小段）の説明。そして、理解のための名尽し謡の紹介、節の一つ一つの詳しい説明がある。その後に、拍子の説明があり、その実習方法が紹介される。写真上は新案地拍子盤。左指先で1〜4の大鼓の間をとり、5〜8を右指先でとる。写真下は音譜。指を動かして八拍をとりつつ、音譜に記された文字を適切な位置で歌うのである。音譜の赤い五本線は、音階を示す。音階に合わせて節がおかれる。日東からレコードも出ていて併用がすすめられており、完璧を期した独習書である。37頁も参照。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…謡曲独習（題簽）

著者 奥附…杉江櫻國

その他の場所…楽阿弥（序）

出版 版次…第一版

出版地…京都

出版社…くつわ会 代表者 杉江堯一

出版年…昭和2（1927）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二二八頁

寸法…19×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考